

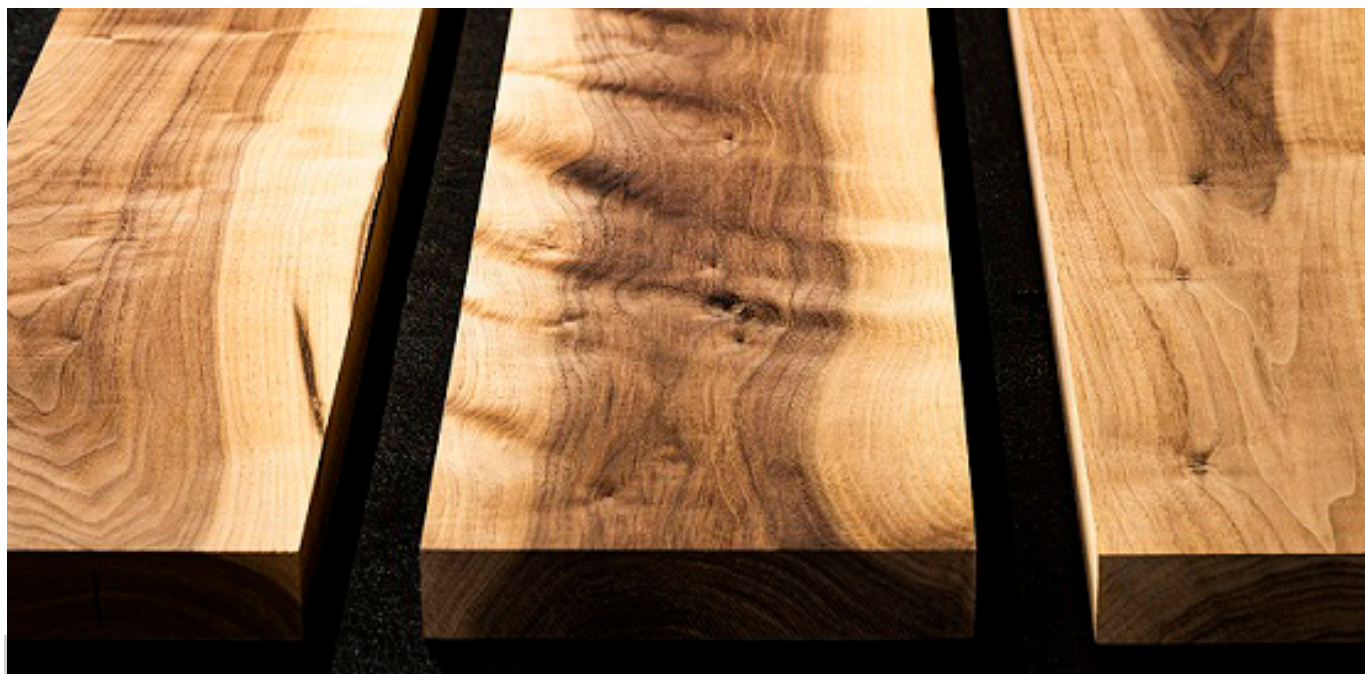


NEW SUSTAINABLE VALUE

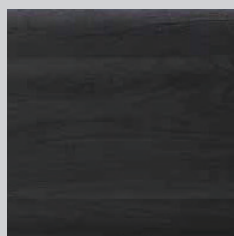
新たな価値との出会い

人気のウォールナット材に、“白太”を活かした新たな塗装色が登場

従来は欠点ともみなされていた、樹皮に近い辺材部分にあらわれる白太。中心に近づくにつれて茶褐色の濃い色素を持つウォールナットは、色素が薄い白太とのコントラストが際立つ木材です。この白太部分は、製品化する際に除外、もしくは赤太の近似色で塗装されるのが一般的です。しかし、自然本来の魅力や美しさを最大限に活かしながら、それぞれの素材が持つ自然な表情をできるだけ大切にしたいと考えるリッツウェルは、白太を欠点ではなく個性と捉え、ウォールナット材の新たな魅力を引き出すための開発を進めました。2年以上の歳月をかけ数度の試作を繰り返し生まれたのが、ウォールナット材限定の新塗装色「蒼墨色 (SOHBOKU)」と「玄色 (GEN)」です。木地の特徴を生かしながら繊細に顔料を施すことで生み出された新塗装は、力強い個性を持つウォールナット材の、深く穏やかな側面に光をあてます。欠点を不完全なものとして排除するのではなく、潜在的な魅力とその可能性を浮き彫りにし、ただ一つの個性としてデザインへと昇華させるこれらの取り組みは、デザインに新しい可能性を生み出すリッツウェルならではの試みです。(受注開始：2024. 6. 24)



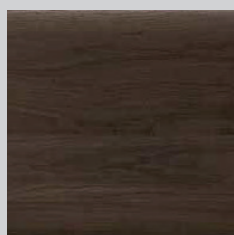
WALNUT WOOD NEW CATING COLOR | ウォールナット材 新塗装色



蒼墨色 (SOHBOKU)

深海を彷彿とさせる仄かに青みがかった墨色

限りなく黒に近い青に染まった赤太部分と 仄かな青味が浮き出る白太部分が、ランダムに混ざりあって生まれる独特な色味と表情が美しい。ウォールナット独特の茶色の木地に黒と青の顔料を繊細に施すことで、透明感のある深みを帯びた黒に仕上がりました。美しい深海を彷彿とさせる仄かに青みがかった墨色がウォールナットの新しい表情を引き出しています。



玄色 (GEN)

夜になる直前の夕焼けのような深みのある茶褐色

茶色の空目に白太が混ざったウォールナットの独特の木の濃淡を活かして、黒檀を思わせるような深みのある茶褐色に仕上げた「玄色」。夜になる直前の暗みがかった夕焼けのような色合いが、落ち着いた美しさを漂わせています。白太と赤太の木の程よいコントラストと透明感が動きのある表情を生み出し、艶消しの美しい仕上がりがウォールナットの高級感を更に引き立てています。

デザインの可能性を拓げる素材使いを常に模索し、新しいチャレンジを続けるリッツウェル。
ウォールナット材 新塗装色の他にも、厚革とマットウレタン塗装に新色が加わります。

リッツウェルのプロダクトに使用される素材は、主に自然素材です。木や革、布などが代表的ですが、とりわけ、人の手が施されたような有機的な風合いを感じさせる加工を施されたもの、人工素材においても素材感を大切にすることで、出来るだけ使う人に心地よい、あたたかいもの作りをしたいと考えています。そして、自然素材本来の魅力や美しさを最大限に引き出しながら、それぞれの素材が持つ自然な表情を出来るだけ大切にしたいと考えています。リッツウェルは、そういった素材の本質を常に研究し続ける姿勢を守りながら、素材の特性を知り尽くしたものの作り、言い換えれば、素材にとって無理のない家具作りを目指しています。

厚革 新色 “ECRU” “AMBER” “TERRACOTTA”

(受注開始：2024. 6. 24)



厚革の新色は、上品で柔らかな色合いの「エクリュ」、健康的な小麦色の肌を思わせる「アンバー」、落ち着いた赤褐色の「テラコッタ」の3色。空間を明るく彩る、優しく温かみのある色合いが魅力です。

マットウレタン塗装 新色 “SOHBOKU” “GEN” “MATTE WHITE”

(受注開始：2024. 6. 24)



マットウレタン塗装の新色は、美しい深海を彷彿とさせる灰かに青みがかった墨色が美しい「蒼墨色」、黒檀を思わせるような深みのある茶褐色に仕上がった「玄色」、木目の優しい表情を引き立てる柔らかなホワイト。抑制のきいた仕上がりが素材の美しさを引き立てる3色です。既存のダークカラーとも相性のいい新色の登場によって広がる、新しいコーディネートのお楽しみ方。明るさの中にも落ち着いた気のある、リッツウェルならではの上品な雰囲気をご体感ください。



CONSTANTINO armchair

チェアとしては 10 年ぶりの新商品

温かさと程よい緊張感をもたらすアームチェア「コンスタンティーノ」

日本的な繊細さと古典的な技法で作上げた、流れるように滑らかな木部のラインとクラシカルなフォルム、ボリューム感のある背部の絶妙なバランスが、チェア全体に温かさと程よい緊張感をもたらすアームチェア。肘に施された厚革は、視覚的な楽しさを演出するだけでなく、握った時に掌に伝わる木や革の心地よさが無意識の安らぎをもたらし、癒しの効果を発揮します。二段に分かれた背の立体的な形状や、硬さの異なるクッション材を張り重ねた積層構造は、体全体に掛かる負荷を最大限にサポートし、長時間座っても疲れないうようにと考えられたもの。座り心地のよさだけでなく、フォルムの美しさを際立たせるための高度な張り込み技術によって、スッキリとした仕上がりになっています。

効率を優先する最近のモノ作りの現場ではあまり見られることなくなった、この古典的な技法を取って取り入れることで、贅沢な座り心地と、工芸品のような品格のある佇まいを生み出しました。ていねいな手しごとを守り続けているリッツウェルならではの職人技が光る逸品です。 (W560×D620×H840/SH450・AH640 ¥262,900～¥354,200)



(受注開始：2024. 6. 24)



PIPING / HAND STITCH

背パイピングと肘巻きは、標準仕様ではクッションの張地と同素材となりますが、アップグレードで、色・素材の変更が可能です。さらに、肘巻きに厚革を選択した場合は、通常パイピング仕上げの箇所がハンドステッチ（手縫い仕上げ）となります。



MT TABLE living table

リビングシーンを飾るオブジェのような存在感
日本古来のモジュールを採用したリビングテーブル

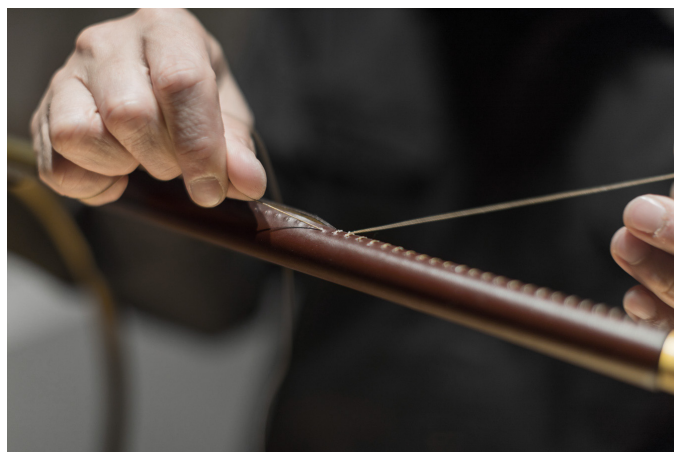
MTシリーズに、新たにリビングテーブルが加わりました。無垢材本来の特徴を生かしながら、ていねいに削り出されたなだらかな曲面が生み出す心地よい手触り感と、やさしさとシャープさの程よく融合した洗練されたフォルム。ボリュームのある天板と華奢な脚部、無垢材の温かさと金属の無機質な質感など、対極的なバランスを保つ穏やかなデザインです。MTシリーズの魅力はそのままに、日本古来のモジュール（1尺=30cm）を取り入れた独特のサイズ感が、シンプルな中にも抑制のきいた存在感を生み出しています。

H210 mmのテーブル高は、日本文化に見られる「床座」の精神を家具に置き換えたデザイン。リビングテーブルとしてはもちろん、新しいスタイルの「床の間」をイメージさせる楚々とした佇まいが、機能性と装飾性を兼ね備えたリビングの名脇役として安らぎの空間に美しい調和をもたらします。（W1590×D520 ¥343,200 / W930×D930 ¥346,500）



（受注開始：2024. 6. 24）

CRAFTSMANSHIP



< ミラノサローネ 2023 > Photo by Marco reggi

糸島シーサイドファクトリーの職人によるデモンストレーション

コロナ禍を経て4年ぶりに従来どおりの4月開催となった昨年のミラノサローネ2023は、中国からの来場者も戻りはじめ、世界181か国から307,418人(2022年比で15%増)、バイヤーや業界関係者のうちの65%が、欧米諸国を中心にブラジルやインドなどの国外からの来場となるなど、国際家具見本市ならではの風景が戻ってきました。リッツウェルは、家具の美しさが際立つシンプルなブースに、糸島シーサイドファクトリーの職人による手縫いの実演コーナーを併設し、期間中、前年を大幅に上回る5,000人以上の来場者が訪れました。既存のディーラーはもちろん、新たな取引先からの引き合いも多く、現在30か国以上に広がるリッツウェルの販売ネットワークの、更なる可能性を確認することができました。今年も再び、フィエラ本会場にて糸島シーサイドファクトリーの職人によるデモンストレーションを披露します。

DESIGNER



代表取締役 兼クリエイティブディレクター
宮本 晋作

国内、イタリアの家具メーカー勤務を経て現在に至る。同社チーフデザイナーとしてプロダクト、グラフィック、インテリアのアートディレクションを手掛ける。これまでに数多くの商品をミラノサローネで発表。

1978年福岡生まれ 九州産業大学建築学科卒業後、飛騨高山にて家具の製作に携わる。25歳で単身渡伊。イタリアのクラシック家具を製作する工房にて修行し、帰国後、独学で家具のデザインを始める。2005年リッツウェルに入社しデザイナーとして活動する中、2018年に代表取締役兼クリエイティブディレクターに就任。2017年以降、「iF design award」、「German Design Award」、「red dot design award」、「Archiproducts Design Award」など数々の世界的なデザイン賞を受賞。2019年には 細やかに連続する日本の直線美をイメージさせる『蛇腹戸』を採用した「JABARA AV BOARD」において、「red dot design award」のプロダクト部門最優秀賞にあたる「Best of the Best」を受賞している。

Ritzwell



ritzwell.com

1992年、福岡で創業した「リッツウェル」。創業時から世界を見据え、ミラノサローネ出展など積極的に海外活動を展開。その上質なデザインと日本ならではの繊細な手仕事により生み出される製品は、ドイツiFデザイン賞、RED DOT賞をはじめ、世界的に権威のあるデザインアワードの数々を受賞。また、海外のプロユーザーからの評価も高く、国内外のラグジュアリーホテルやリゾート、レジデンスなど、数多くの納品実績を持つ。

本社所在地：812-0888 福岡県福岡市博多区板付5-2-9

【本リリースに関するお問合せ先】

※取材のお申込み、商品画像の使用についてもこちらにお問合せください

■株式会社リッツウェル 東京支店
〒107-0062 東京都港区南青山2-13-7 マトリスビル3F
TEL：03-5772-3460 FAX：03-5772-3461
担当窓口
広報担当 若山良子 mail：wakayama@ritzwell.com



PRESS